

# 住人十色

第 85 回

## 「ありのままの御祓地区を伝えます」 新しい地域おこし協力隊が着任——

木島 あかね 茜さん(24) || 田中 ||



◎「何ができるかを考える前に、棚田への思いが強くなって、来ちゃいました」と泉谷の棚田で話す木島さん

内子町の新しい地域おこし協力隊として、5月1日から五十崎自治センターに勤務している木島茜さん。着任前は東京都で4年間、インターネット関係の仕事をしていましたが「人との関わりが少ない仕事だったので、地域との距離が近い協力隊の仕事に魅力を感じた」と転職を決意しました。

協力隊としての主な任務は、泉谷の棚田や御祓地区の情報発信。専門学校で学んだ写真の技術や前職での経験を生かして、地域のWEBサイトの準備や情報紙『棚田通信』の作成に取りかかっています。「棚田は人の営みを感じられるところが好き。御祓地区の人たちの人柄や田舎の良さがぎゅっと詰まっている。その暮らしぶりをありのままに伝えたい」と語る木島さん。「今はまだ『これだ』というものが分からないけれど、地域の人たちと触れ合いながら、私にできることを探したい」と決意を新たにします。

木島さんは「地域の人たちとしっかりとコミュニケーションをとることで、大切なことが見えてくる。お酒は飲めないけれど、皆さんとたくさん話がしたい。読書や芸術が好きなので、そういう人が集まる会などがあれば、ぜひ誘ってほしい」と笑顔を見せました。

### 編集 幸記

▽震災から1カ月経った熊本県を取材。あまりに大きな傷跡に胸が痛みました。以前の日常を取り戻すまでには、まだまだ時間がかかりそうです。前を向いて頑張っている皆さんの姿を忘れず、ずっと応援し続けます。「負けんばい、熊本」(裕)▽災害現場で対応した職員の話聞き、情報発信の重要性を強く感じました。内子町でもSNSなどを活用して、生活情報や町の話などを、普段から町民の皆さんに届けて、災害時にも役立てたいです(健)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の  
フリーダイヤル  
☎0120(44)2130

